

種目名	社会（公民的分野）	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来発行者名	東京書籍
-----	-----------	---------	-----	--------	--	--------	------

発行者 観 点		東京書籍	教育出版	清水書院	帝国書院	日本文教
1	学習指導要領との関連	社会科の基礎的・基本的な知識や概念、技能を確実に習得し、「確かな学力」を伸ばす工夫がされている。豊富な資料に基づき、多面的・多角的に考察し、表現する力を育む編集がされている。	公民的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項がおさえられている。資料の読解や言語活動を通じて、思考力・表現力を育む工夫がされている。	基礎的・基本的な知識を習得させ、生徒の主体的な学習を助けるとともに、表現力・判断力を育むことができる編集がされている。社会とのつながりを意識した編集がされている。	公民的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項がおさえられている。思考力・判断力・表現力を養うために言語活動の充実を図る工夫がされている。	基礎的・基本的な知識・概念や技能の確実な習得を図り、思考力・判断力・表現力を養う工夫がされている。また、主体的に社会に参画する態度を養う編集がされている。
2	「あいちの教育の基本理念」との関連	実際に社会に参画している人々の姿から自らの在り方・生き方やキャリア形成について考えることができる。 持続可能な社会の形成について、第1章1節と終章で取り上げ、公民の学習全体を通じて意識を高める工夫をしている。	持続可能な社会の実現を妨げる今日的な課題とその解決について探求し、自分との関わりから「未来への私の約束」を作成して提言する活動が、小・中学校を通じた社会科のまとめとして取り入れられている。	持続可能な社会を実現していくためには、不断の努力が不可欠であることが、国際的な視野から記述されている。 領土問題について、様々な角度から課題を取り上げている。	主体的に社会に参画する態度を育むための資料が豊富である。持続可能な社会の実現に向けて、社会の諸問題を探求する活動が示されている。 領土・領海について理解を深め、他国を尊重する姿勢を高めることができる。	中学校社会科3分野の学習の成果を生かしたレポート作成を、持続可能な社会の観点から課題を探求し、社会に参画する態度を養うための手がかりを考えることができる。また、社会に参画するための手がかりとしての読み物が充実している。
3	(1)内容の選択 内容等	分野関連マークを付け、3分野の関連を意識させるよう工夫している。我が国がかかえる、領土をめぐる問題の現状について詳しく説明している。自然災害における関係機関の役割を示している。	生徒の日常生活や生活体験と関連の深い身近な話題・内容が多く取り上げられている。「新聞」の活用について、実際の新聞の紙面から丁寧に学ぶことができる。	「個人」「社会」のかかわりを中心に、政治・経済・社会生活に関する基礎的・基本的な内容が記述されている。本編全体の内容量は他者と比べて少ない。	側注欄に「地理・歴史をふりかえる」が設けられ、地理や歴史で学習した内容を再確認できる。自然災害発生時の関係機関の役割について詳しく示している。	本文脚注の「連携コーナー」において、地理と歴史の既習事項をふり返ることができる。「公民タイムトラベル」では、歴史と公民の学習に関連づけて学ぶことができるよう、コラムを示している。

(2)内容の程度	<u>東京書籍</u> 平易な文章で分かりやすい。新しい資料を扱っており、数も豊富である。導入部分で小学校の学習内容を振り返り、章末には「基礎・基本のまとめ」を示しており、基礎・基本を定着させる工夫がされている。	<u>教育出版</u> 平易な文章で分かりやすい。新しい資料を扱っており、数も豊富である。導入部分「はじめに」では、これから学習する章全体の内容を概観できる。章末「学習のまとめと表現」では、図や語句を用いて整理する活動ができる。	<u>清水書院</u> 平易な文章で分かりやすい。新しい資料を扱っているが、やや他社に比べて数が少ない。導入部分の資料は少ないが、発展的な資料は豊富である。章末で、基本的な用語を学ぶことができる。	<u>帝国書院</u> 平易な文章で分かりやすい。新しい資料を扱っており、数も豊富である。導入部分「学習の前に」では、イラストや資料から学習内容を概観し、復習できるようになっている。また、最終章を行うレポート作成のテーマ例を表記している。	<u>日本文教</u> 平易な文章で分量も適している。資料も最新で豊富である。導入部分「ナビ」では、作業を通して、各編の学習の見通しを立てる工夫をしている。章末の「学習の整理と活用」では、「対立と合意」「効率と公正」に関わる問題も掲載している。
(3)内容の構成	見開き2ページに1単位時間となっており、適切に配列されている。 「効率と公正」「対立と合意」の見方や考え方を活用するコーナーを設け、考える活動を促している。 発展的な内容として「公民にアクセス」「深めよう」などにおいて、読み物資料が工夫されている。	見開き2ページに1単位時間となっており、適切に配列されている。 「タイトル→副題→学習課題→本文→ふりかえるステップ1（学習活動の確認）・2（言語活動の課題）」と系統立てている。学習したことを整理し、まとめ、表現する活動をスムーズに進めやすいと考える。「読んで深く考えよう」では、資料活用力を育成させる工夫がある。	見開き2ページに1単位時間となっており、適切に配列されている。 本文の内容を深めることができるような工夫がされている。 序章や扉のページで、学習内容に関連のある人物の写真を示し、その言葉に焦点をあて、興味・関心を引き出すことができている。	見開き2ページに1単位時間となっており、適切に配列されている。「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」の流れで構造化され、基礎的・基本的な知識や技能、概念を確実に習得することができるように配慮されている。 「技能をみがく」では、ロールプレイングや文章などで表現する技能を身に付けることに適したコラムがある。	見開き2ページに1単位時間となっており、適切に配列されている。 学習の課題に対応し、学習の理解の確認や考えを説明するコーナーを設けている。 また、「アクティビティ」のコーナーにおいて主体的な学習を促すヒントを示している。発展的な内容として「チャレンジ公民」や「公民タイムトラベル」などが充実している。
4 表記・表現及び使用上の便宜等	平易な文章で、漢字や仮名遣いなど適切である。本文中に資料の番号が入っており、分かりやすくなっている。章末や憲法の用語解説が豊富で分かりやすい。	平易な文章で、漢字や仮名遣いなど適切である。本文中に資料の番号が入っており、分かりやすくなっている。章末には時事的な用語をまとめた「用語解説」がある。	平易な文章で、漢字や仮名遣いなど適切である。脚注は解説が細かく丁寧である。本文はやや硬い感じがある。	平易な文章で、漢字や仮名遣いなど適切である。本文中に資料の番号が入っており、分かりやすく示し、学習内容について興味・関心を高めることができている。	平易な文章で、漢字や仮名遣いなど適切である。本文中に資料の番号が入っており、分かりやすい。章末や憲法の用語解説が豊富である。巻末の類似用語集も便利である。
5 印刷・造本等	図表やイラストが鮮明で見やすくなっている。堅ろうである。	図表やイラストが鮮明で見やすくなっている。堅ろうである。	図表やイラストが鮮明で見やすくなっている。堅ろうである。	図表やイラストが鮮明で見やすくなっている。堅ろうである。	図表やイラストが鮮明で見やすくなっている。堅ろうである。

観 点		発行者	
		自由社	育鵬社
1 学習指導要領との関連		愛国心を養うだけでなく、国民が公の立場に立って考え、行動する公共の精神の育成を主とし、生徒が自主的に思考し、判断し、表現できるよう工夫して編集されている。	基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、社会的事象を自らの課題としてとらえられるような工夫をしている。生徒の主体的な学習を助け、思考力、表現力、判断力を育むことができるように編集されている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		「持続可能な社会を形成していくためには、何ができるか」を考えるような記述がされている。	持続可能な社会の形成をしていくために解決すべき課題を探求させ、自分の考えをまとめさせている。自分の人生のものさしを視覚的に考えるページがある。
3 内容等	(1)内容の選択	日本の伝統文化を尊重する態度を養うよう考慮されている。日本国憲法成立の歴史的背景を詳しく記している。	日本の伝統文化を尊重する態度を養うよう考慮されている。
	(2)内容の程度	本文は平易な文章で分かりやすい。写真などの資料は、他社に比べてやや数が少ない。自分の言葉でまとめる課題を示し、表現力を高める編集をしている。	本文は平易な文章で分かりやすい。資料も最新で豊富である。導入部分で意欲を高める工夫がされている。各章末には基礎的な知識の定着を図る工夫をしている。

	(3)内容の構成	<p><u>自由社</u></p> <p>見開き2ページに1単位時間となっており、適切に配列されている。</p> <p>発展的な資料が豊富である。</p>	<p><u>育鵬社</u></p> <p>見開き2ページに1単位時間となっており、適切に配列されている。</p> <p>鉛筆マークで1時間の内容を言葉にまとめるなど、思考力・判断力・表現力を育む工夫をしている。</p> <p>また、主体的な学習を促すヒントを示している。</p>
4 表記・表現及び使用上の便宜等	日本国憲法の脚注がないので、難易度がやや高いと考える。	平易な文章で、漢字や仮名遣いなどが適切である。索引には、口絵や巻末付録の写真番号を示し、興味・関心を高める工夫がされている。	
5 印刷・造本等	印刷は鮮明である。	図表やイラストが鮮明で見やすくなっている。堅ろうである。	